

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会学（現代の社会） <b>Sociology (Modern Society)</b>		1年・2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	（現代の社会生活の仕組み）	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
法学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
倫理学入門				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 弘晃	講師室	木曜日のお昼時間		授業中に指示します
授業の概要				
社会学は第一に、人々が、どのような社会生活を営んでいるのか、第二に、そこには、どのような規則性があるのか、の2点を明らかにするが、さらに第三に社会の変化する構造を理解するため、①今までの社会学者の社会のとらえ方の特色を学び、②家族形態と地域社会の変化を知り、③都市と農村の変容を経済、政治の変化と併せて理解し、④福祉、環境、国際関係に関する社会問題の解決の模索を図る。				
授業の目標				
①社会の人間関係の変化を認識することで、現代社会の多様な価値観を客観的にとらえる見方を身につけることができるようにする。②社会の中の集団関係を認識することで、組織の中の人々のあり方を身につけることができるようにする。③社会問題の発生する理由を認識することで、その対処と解決を図ろうとする意欲を促すことができるようにする。④社会学の目的・内容、手法についての基礎的事項を学習し、その知識を自己の社会性の拡張に役立てることができるようにする。				
授業の方法				
社会学の基礎的事項についての要点を板書し、講義形式で授業を進めるが、講義2回終了ごとに、社会思想の教養問題としての小テストを実施し、さらに社会調査の手法を身につけることができるようにする。				
学習の成果（学習成果）				
①自己中心、家庭中心、友達中心の自分から、一歩踏み出した社会性のある自分に変化することができる。②同世代の人間関係を打ち破り、異世代の人々への関係が重要なことであることを認識することができる。③集団生活の規則性を知り、他者に支えられて生きていることを自覚することができる。④外国社会への関心を、社会変化と変容の原因を認識することで、今まで以上に持つことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	講義ガイダンス（社会学の学習方法、現代社会の社会学分野における諸問題）			
第2回目	社会学の成立とその歴史、学説1（社会学の成立期 フランス、ドイツの社会学者群像）			
第3回目	社会学の成立とその歴史、学説2（社会学の展開期 イギリス、アメリカ、日本の社会学者群像）			
第4回目	社会学の分析視点（ミクロレベルとメゾレベル並びにマクロレベル）			
第5回目	社会集団論1（社会的相互行為、集団と組織、家族形態の諸変化と多様性、少子化問題）			
第6回目	社会集団論2（地域社会、都市の生活様式の浸透、過疎地域、職業生活のストレス）			

第7回目	現代社会の特性1（生活構造と生活様式、社会福祉の問題点、福祉政策の変容）		
第8回目	現代社会の特性2（職業、階級、階層、国家と自治体、社会心理とイデオロギー）		
第9回目	現代社会の変容1（ポスト産業社会、情報社会、官僚制と大衆性）		
第10回目	現代社会の変容2（都市生活様式の変化、市民生活と国際化、ネット社会の変化）		
第11回目	現代社会の動向1（大気汚染、地球温暖化、放射能汚染、天災等を原因とする社会生活環境の諸問題）		
第12回目	現代社会の動向2（業績主義社会とその属性、諸差別、規則からの解放、人権擁護の問題）		
第13回目	現代社会の動向3（ラベリング、逸脱行為、消費拡大、賃金格差、失業、雇用問題）		
第14回目	社会問題の把握と解決の施策（白書、統計等の基本資料の読み方と、社会把握の手法）		
第15回目	社会学の基礎知識のおさらい。定期試験とその解答。		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	出席シノートを取り、教員の質問や時折の課題に積極的に発言し提出する。
	レポート	30%	全6回分で1回5点。課題に対し的を射た内容であり、誤字脱字のないこと。
	調査報告書		
	小テスト	10%	必要事項の記憶が正確かどうかを見て評価する。
	試験	50%	客観テスト（○×問題）と記述テスト（基礎的必要事項の解説並びに、社会問題の解決の私見）
	発表内容（態度含む）		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書風の資料配布。参考図書：『社会学』中央法規、各種類の白書、統計資料（佐野短期大学図書館所蔵）			
履修上の留意点・ルール			
私語厳禁。毎日の世界と国内の社会問題となるニュース記事を見たり、聞いたり、読んだりして授業に臨むこと。			